

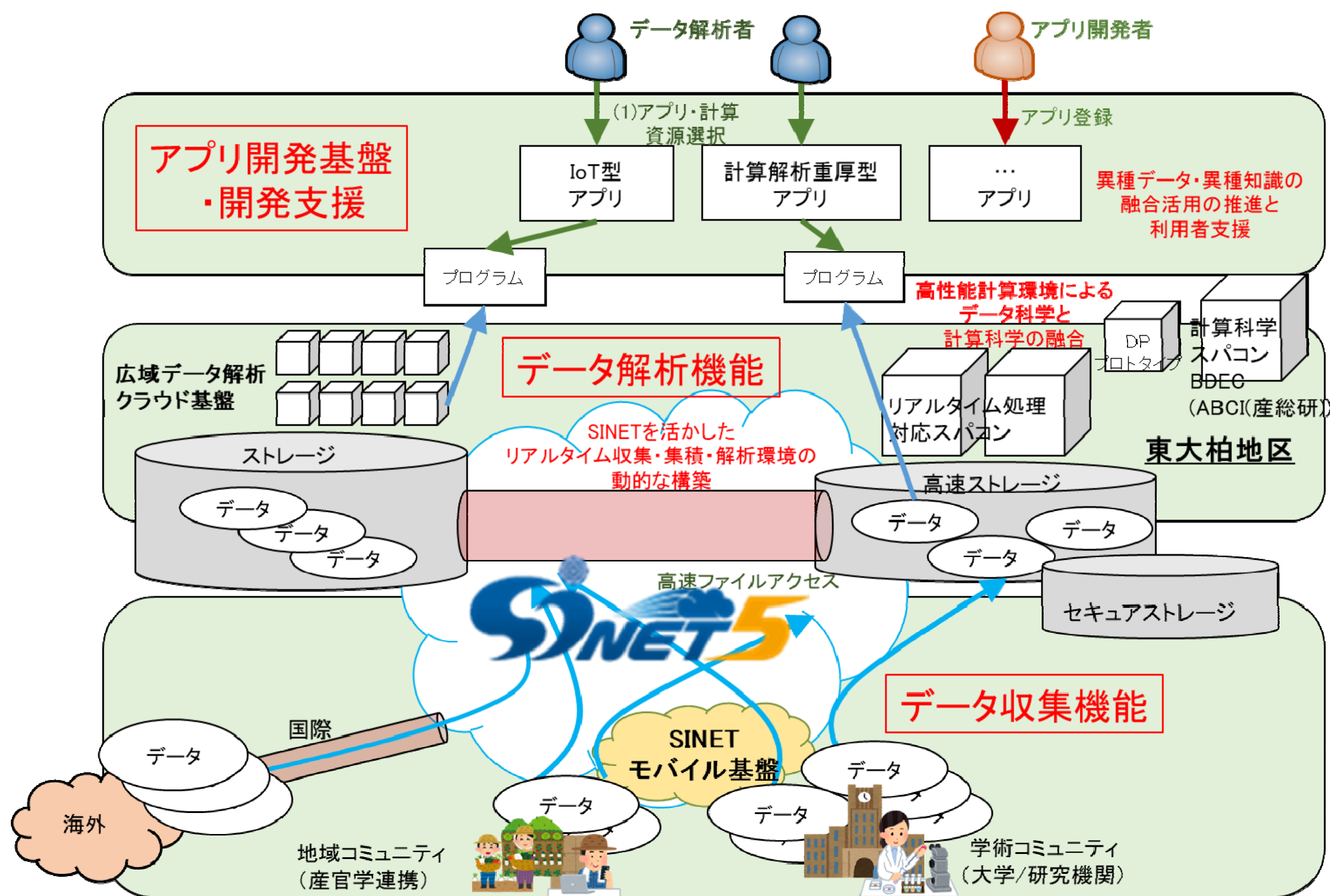
データ活用社会創成プラットフォーム

東京大学：中村宏、田浦健次郎、中島研吾、塙敏博、下川辺隆史、工藤知宏、
関谷勇司、中村遼

国立情報学研究所：合田憲人、漆谷重雄、栗本崇、竹房あつ子、中村素典

データ活用社会創成プラットフォームとは

- 「知」の抽出により、Society 5.0における「ビッグデータ等の新たな技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れてイノベーションを創出」するための「場」
- 短時間でのプロトタイピングを可能にし、機を逃さないシステム構築を支援する
- アイデアはあっても実際にデータを収集・集積・解析する仕組みを作ることが困難な大学・研究機関や産学連携体にも「場」を提供することで、「知」の抽出を容易に行えるようにする



- 自ら設備を持たなくとも誰もがデータ利活用
①IoTデータや大規模リアルタイムデータを円滑に扱えるセキュアな大容量通信回線【データ収集機能】
②高度・高速な解析を実現する高性能計算環境、ストレージ【データ解析機能】
③多様な応用を実現する基盤ソフトウェアと共用データ【アプリ開発基盤・開発支援】
を一体的に提供。①～③を自在に組み合わせて、さまざまな応用を実装可能
- 応用ごとに必要な機能を用途に応じて利用オンデマンドで短時間に構築・拡張・融合可能

データ活用社会創成プラットフォームの3本柱

1. SINETを活かしたリアルタイム収集・集積・解析環境の動的な構築

- 遠隔地のセンサーやストレージ、データプラットフォームの計算資源、ストレージをつないで、リアルタイムに入力から出力を得られるアプリケーションごとの収集・集積・解析環境(仮想データプラットフォーム)を、使いたいときに即時に構築
- SINETモバイル基盤によりセンサー等のデータを安定してセキュアにつなぐ

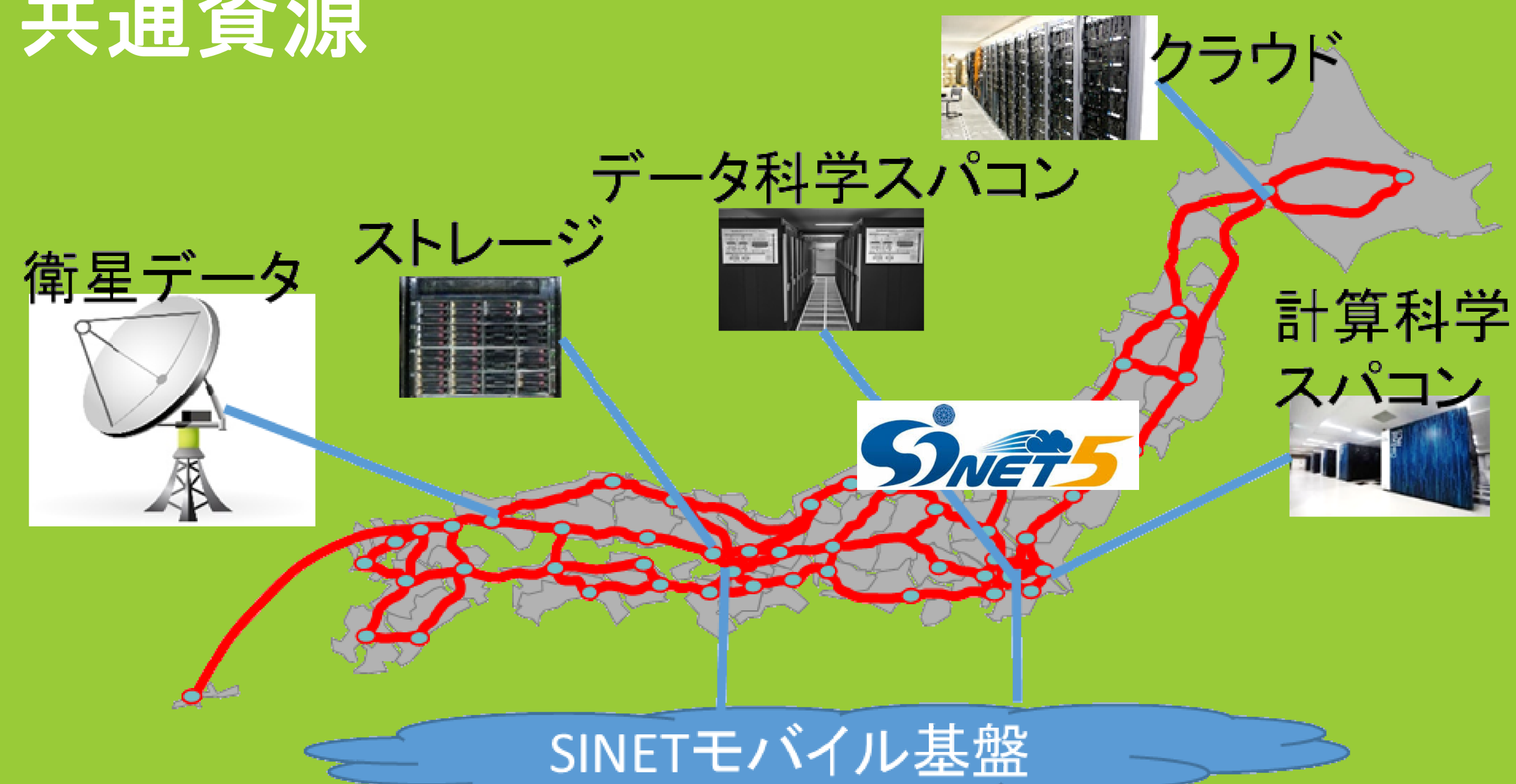
2. 高性能計算環境によるデータ科学と計算科学の融合

- データ科学、計算科学の手法を融合し、さらに国内最高の計算環境を用いて他に無い高精度の予測を行えるようにする

3. 異種データ・異種知識の融合活用の推進と利用者支援

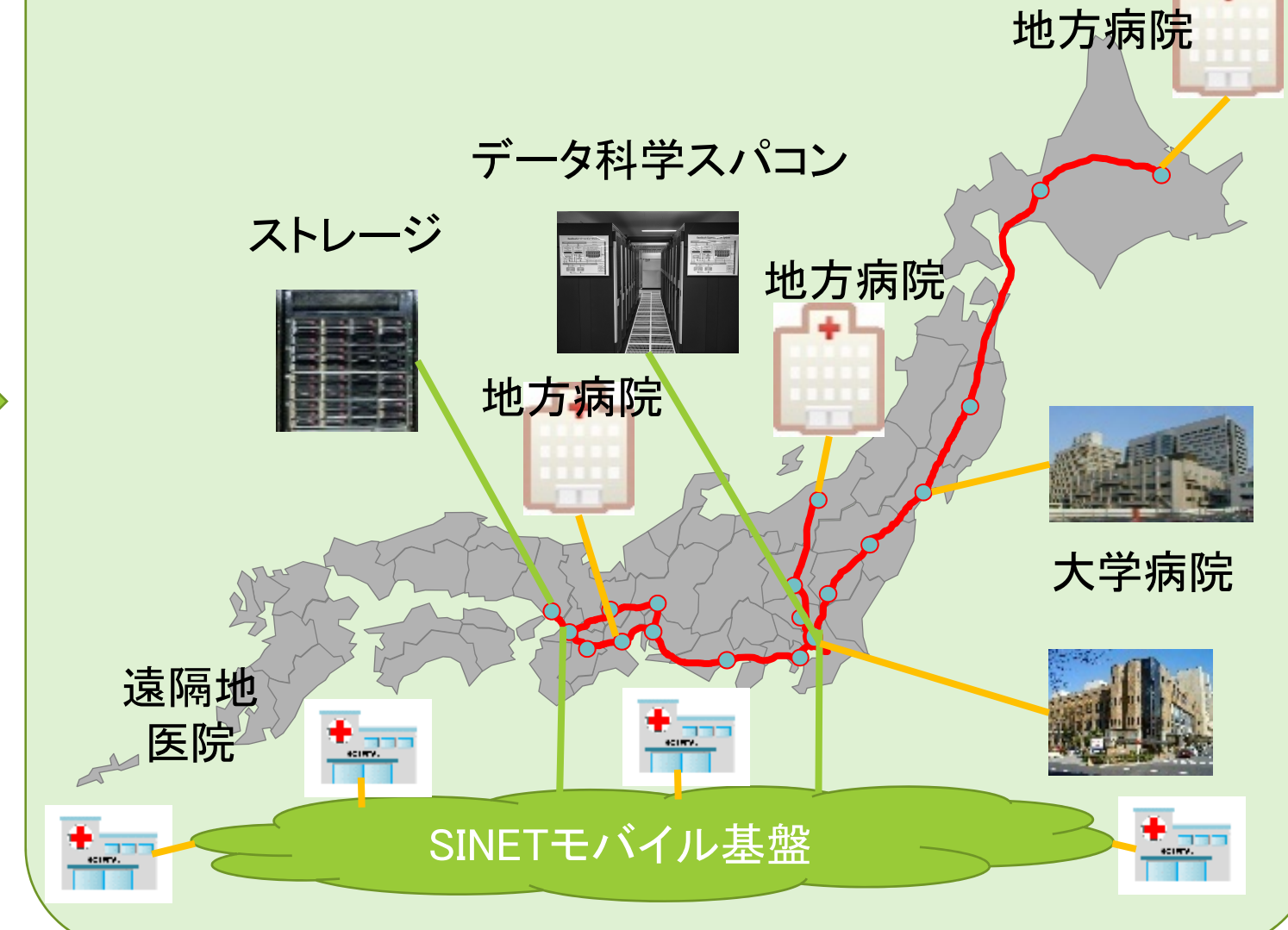
- 様々な分野のデータ保持者、解析者、利用者の産学にまたがるコミュニティを形成し、新たな価値創造につなげる
- データ活用を目指す利用者へのコンサルティングや開発支援を実施する

共通資源



共通のネットワーク、計算機、ストレージ資源から、用途ごとのプラットフォームのための資源を切り出し、性能が確保されたプラットフォームを短時間で構築・提供

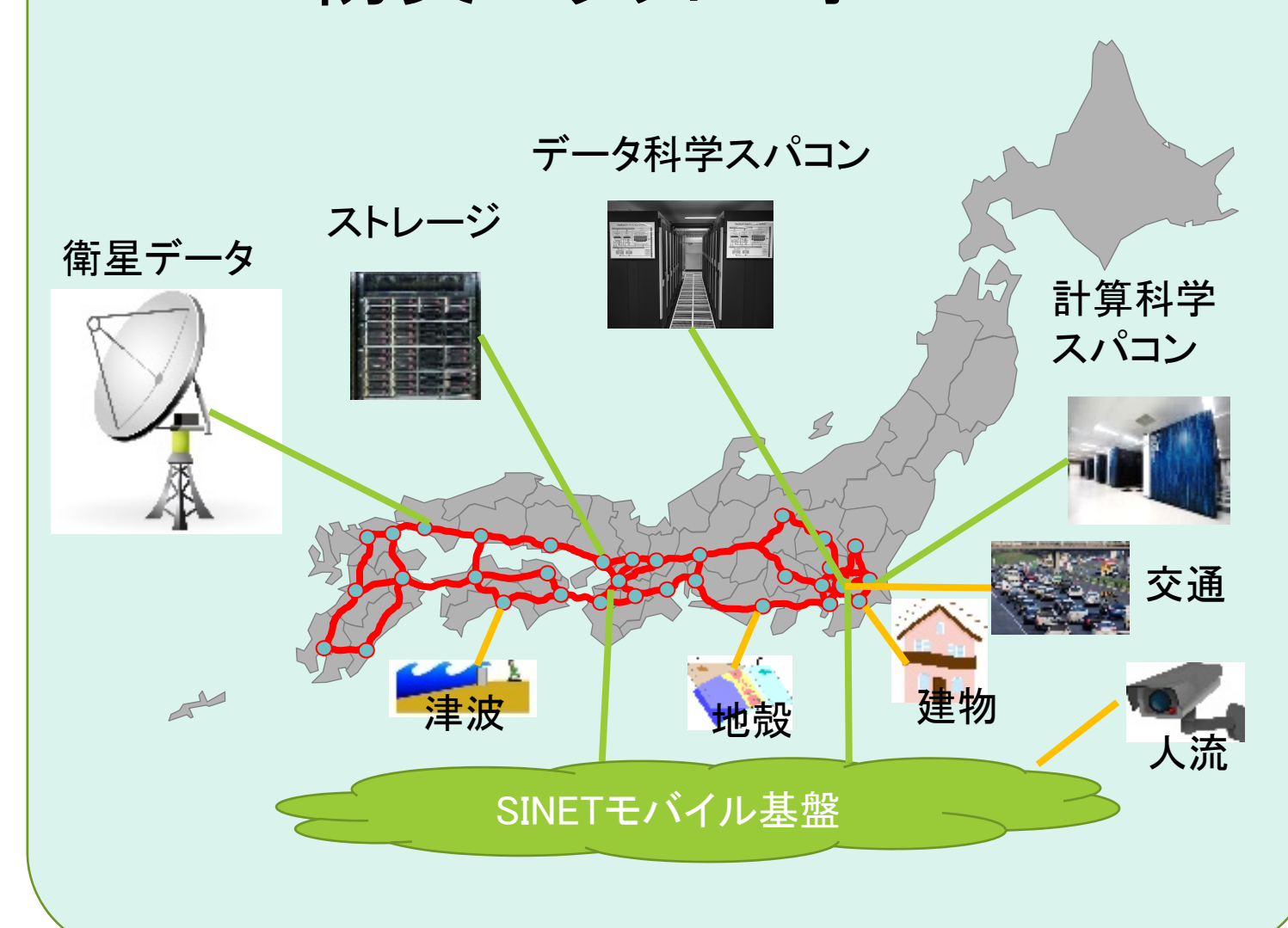
医療プラットフォーム



農業・漁業プラットフォーム



防災プラットフォーム



これらは例であり、特定の研究やプロジェクトを表したものではありません
図上の地理的な位置にも意味はありません